



特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク 第19回シンポジウム
【(財)こども未来財団 子育て支援者向け研修事業(大規模研修会)】

地域で取り組む子ども虐待の防止

日時 平成25年1月27日(日)
13:00~16:30 (開場12:30)

場所 発明会館 東京都港区虎ノ門2-9-14
☎03(3502)5499

参加費 無料 事前申し込み不要

託児あり 託児を希望される方は、1月18日までに下記「問合せ・託児申込先」にご連絡ください。

子ども虐待の原因の一つとして親の子育て不安、近隣や親族からの孤立があげられます。子ども虐待の防止には、親が安心して子育ての相談をしたり、子育ての方法を学ぶことができるような支援が必要です。そのためには、民間団体や身近な機関による、「敷居の低い支援」が効果的です。子どもにとっても、自分のつらさを安心して口に出せるような「ホッとできる場」が大事になります。このシンポジウムでは、児童相談所や市町村等の子ども虐待対応の専門機関とは少し

距離を置いた団体等が、子ども虐待防止にどのような役割を果たしているのか、またどのようにすればその役割を効果的に果たせるのかを考えます。



オレンジリボン公式ポスターコンテスト2012最優秀賞
(大阪府 岩田三郎さんの作品)

プログラム

基調講演 健全育成と虐待防止の間のクレバスを埋める
—新しい子ども子育て支援事業計画への期待—
西郷 泰之氏 (大正大学 人間科学部 教授)

シンポジウム

テーマ 地域で取り組む子ども虐待の防止

●シンポジスト

松田 妙子 (NPO法人せたがや子育てネット)
「子育てしながら町に出よう!」

谷田 清美 (ホームスタートかぞ)
「敷居の低い支援『傾聴と協働』
〜ホームスタートの取り組み〜」

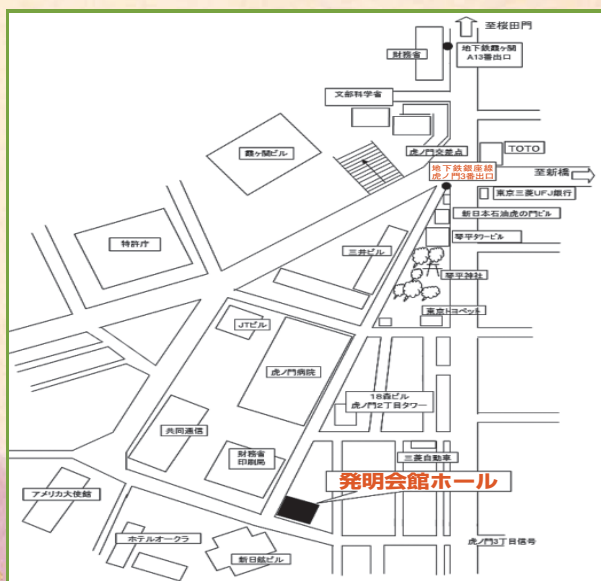
吉成 信夫 (森と風のがっこう)
「岩手での遊び場づくり実践から見えてきたこと
—子どもの心とからだを解き放つために—」

司会 西郷 泰之 (大正大学 人間科学部 教授)
(敬称略)

主催 特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク
財団法人 こども未来財団

後援 内閣府、厚生労働省、文部科学省、日本子ども虐待防止学会、公益財団法人 SBI子ども希望財団、読売新聞社、財団法人 児童健全育成推進財団、全国地域活動連絡協議会 他

案内図



地下鉄銀座線 虎ノ門駅 3番出口徒歩5分
地下鉄日比谷線 神谷町駅 4番出口徒歩6分

問合せ・
託児申込先

特定非営利活動法人

児童虐待防止全国ネットワーク

電話 03(6380)6380

ホームページ <http://www.orangeribbon.jp>

メール info@orangeribbon.jp